

11月23日 王であるキリスト

行いによる信仰

マタイによる福音書 25 章 31 ~ 46 節

³¹「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。³²そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、³³羊を右に、山羊を左に置く。³⁴そこで、王は右側にいる人たちに言う。『さあ、わたしの父に祝福された人たち、天地創造の時からお前たちのために用意されている国を受け継ぎなさい。³⁵お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせ、のどが渴いていたときに飲ませ、旅をしていたときに宿を貸し、³⁶裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢にいたときに訪ねてくれたからだ。』³⁷すると、正しい人たちが王に答える。『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物差し上げ、のどが渴いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。³⁸いつ、旅をしておられるのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。³⁹いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』⁴⁰そこで、王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

⁴¹それから、王は左側にいる人たちにも言う。『呪われた者ども、わたしから離れ去り、悪魔とその手下のために用意してある永遠の火に入れ。⁴²お前たちは、わたしが飢えていたときに食べさせず、のどが渴いたときに飲ませず、⁴³旅をしていたときに宿を貸さず、裸のときに着せず、病気のとき、牢にいたときに、訪ねてくれなかったからだ。』⁴⁴すると、彼らも答える。『主よ、いつわたしたちは、あなたが飢えたり、渴いたり、旅をしたり、裸であったり、病気であったり、牢におられたりするのを見て、お世話をしなかったでしょうか。』⁴⁵そこで、王は答える。『はっきり言うておく。この最も小さい者の一人にしなかったのは、わたしにしてくれなかったことなのである。』⁴⁶こうして、この者どもは永遠の罰を受け、正しい人たちは永遠の命にあずかるのである。』

他の朗読：エゼキエル 34:11, 12, 15 ~ 17 詩編 23:1 ~ 3, 5 ~ 6 I コリント 15:20 ~ 26, 28

Lectio … 読む

今年の典礼暦は、マタイによる福音書の中のイエスの 5 番目の説教の最後の部分を以て終わろうとしています。厳密な意味ではたとえ話ではありませんが、審判の様子を生き生きと描いています。複雑な箇所ですので、いくつかの点に絞ってポイントを引き出すことにしましょう。

前に出てくるたとえ話の殆どでは、王は父なる神を表していました。ここではイエス自身が全ての人々を審判するためにやってくる王として表されています。イエスは、宗教指導者たちに拒絶され、はりつけになるであろうことを知っています。再臨の時には、イエスの本当の正体はもはや議論の余地がありません。

羊と山羊を分ける羊飼いのイメージは、当時のイスラエルの人々にとっては非常に慣れ親しんだものだったことでしょう。羊と山羊は昼の間は一緒に牧草を食べました。しかし夜には、山羊は、羊に比べて頑丈ではないので、温かく保つように分けられました。

正しい者と正しくない者との分離は、イエスの前の教えの多くを補っています。周りの人々に思いやりの手を差し出すことは、イエスへの信仰の自然な表現です。イエスに従って歩み、そして私たちの隣人を愛しているなら、他人の必要性に無関心でいることはありえないからです。

Meditatio … 黙想する

エゼキエル 34 章 11 ～ 17 節を黙想しましょう。羊飼いたちが羊を気遣う色々な方法の全てをよく考えてみましょう。このことは、神があなたをどのように気遣うかについてあなたに何を語っているのでしょうか。

ヤコブ 2 章 14 ～ 26 節は、私たちがこの箇所を理解するためにどのような助けになるのでしょうか。

イエスが私たち全員を裁くためにやってくるという事実、あなたはどのように反応しますか。

この箇所は、わたしたちの他人に対する態度について何を言っているのでしょうか。

Oratio … 祈る

王座にあり、天使たちに囲まれた王としてイエスを賛美しましょう。あなたが他人の必要に応えられるよう、神に助けを願いましょう。同様に肉体的にも霊的にも空腹で渴いている人々について、神があなたに語りかけてくれるかも知れません。

Contemplatio … 観想する

イエスが私たちの罪のために代償を払ってくださったおかげで、私たちが神との一致をいただいていることに感謝しましょう。